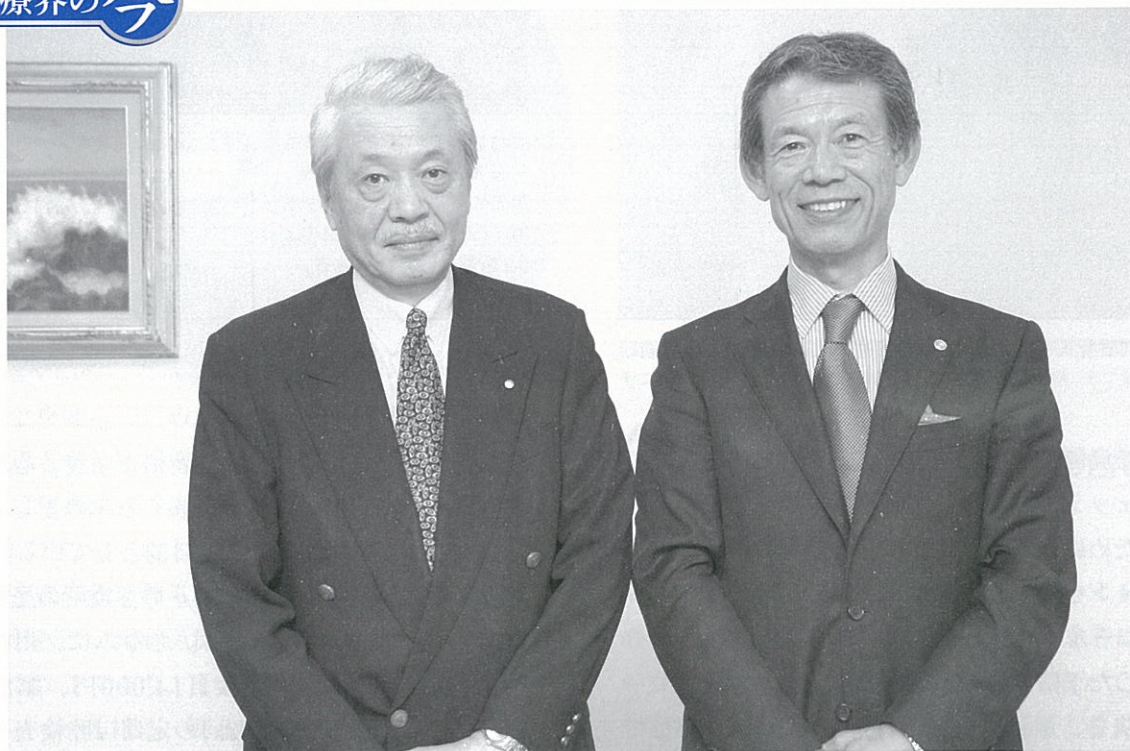


ゲスト：中尾 薫氏（日本歯科医師会常務理事）

聞き手：隈部 幸一氏（MMPG歯科経営研究会会長、隈部会計事務所社長）

MMPGが聞く
歯科医療界の今



経営の安定化が支える歯科医療の質 超高齢社会への対応が急務

歯科医院経営は厳しい環境に見舞われている。そのような状況の中、歯科医師の最大の職能団体である日本歯科医師会はこの問題についてどのように考えているのか。中尾薫日本歯科医師会常務理事にMMPG会員の隈部幸一氏が聞いた。（2009年10月28日取材）

歯科医療費は10年前から15%減少

隈部 今日はよろしくお願ひします。お聞きする質問は、私ども会計事務所の現場に携わる職員から吸い上げたものです。職員は皆、歯科医院経営に関心を持ち、経営状況がよくなるのが患者さんへのサービス向上につながると考えています。

さて、私どもの事務所が、歯科医院のお客様の12

年前から2年前までの10年間の業績推移を調べたところ、収入が増えたところが2割、維持が2割、減少が6割でした。通常こういう調査をしますと、上昇：維持：減少の割合は、普通2：6：2になるものですが、2：2：6とかなり厳しい結果でした。

これは一つの例ですが、日本歯科医師会（以下、日歯）としては、現在の歯科医院経営についてどう受け止めておられますか。

中尾 まず、今回こういう機会を与えていただいたことを感謝します。

ご質問への回答ですが、私ども日歯としても歯科医院経営は厳しい現状があると認識しています。事実、過去10年間の国民医療費に占める歯科医療費の割合を見ると、15%程度落ちています。しかし、その改善方策はなかなか難しいのです。歯科医院経営は、行政・国策に沿った統制経済の中にあるわけで

すから、自助努力だけではいかんともしがたいところがあります。その自助努力についても、基本は「入るを量りて出ざるを制す（為す）」ということになるかと思いますが、経費削減は、すでにどの診療所も目一杯おやりになっています。

ですから、歯科には自費診療などがありますが、基本的には、オフィシャルな仕組み、つまり診療報酬を上げれば経営改善に結びつくことが自明の理なのですから、日歯としては次期診療報酬改定では全体の底上げをしていただきたいという主張をしています。

ただ、点数が上がれば、現行制度では患者さんの窓口負担も上がるわけですから、国民の皆様を理解を得られる歯科診療のあり方というものを同時に考えていかなければならないと考えています。

隈部 現状では、歯科医院経営にとって欠かせない、人・物・設備のうち、年々高額化してくる設備を導入できないという声も聞きます。

編集部 治療ユニットの買い替えもままならないという声もありますね。

中尾 ご指摘のとおりです。ただ、先端医療ということだと、CTなどの利用はオープン利用ができるような、医科が積極的に歯科と連携している地域が増えてきましたので、今後も推進していきたいと考えています。また、私どもの調査では、多くの歯科医院で新規購入したくても資金的に購入できない状況にあることがわかりました。自院で整備すべき機器については、個々の歯科医院で購入が可能になるような助成金制度の整備などを、国に訴えています。

歯科医師数・歯科医院数は本当に過剰か

隈部 歯科医師、歯科医院の数についてはいかがでしょう。競争激化が先ほどの2：2：6という現象を起こす原因の一つという見方もありますが。

中尾 日歯では、毎年2,300人ほどの国家試験合格者に対して1,500人ほど辞められる方がいて、ここ10年ほどは毎年7～800人ほどの歯科医師数の増が見込まれるとみています。

歯科医師、歯科医院の数の増加による競争激化と経営環境については、現状をつぶさに見ると、さまざまな要因から、国民に歯科医療の受診抑制がかか

PROFILE



中尾 薫

1972年、大阪歯科大学卒業。82年、神戸市に「中尾歯科医院」開業。2006年、社団法人兵庫県歯科医師会常務理事・社団法人日本歯科医師会代議員。2009年、社団法人兵庫県歯科医師会副会長・社団法人日本歯科医師会常務理事、現在に至る。

っていますから、本当は歯科医療が必要なのに、まだ歯科を受診していない人がその2倍も3倍もいらっしゃると思われています。加えて、必要とされる歯科保健・医療サービスへの診療報酬上の評価が薄い、あるいはないという問題もあり、それが歯科医療の総枠を狭めています。

このような問題を解消できれば、数が増えすぎたから問題が起きているとは言えなくなるでしょう。すなわち、受診しておられない患者さんが歯科を受診して、必要なサービスにきちんとした評価がなされれば、そのサービスが提供されるようになり、結果として数が足りないということになるかもしれません。

需給バランスというものは、本来なら、あるべき歯科サービスとは何かを整理し、それらを適正に評価した上で、患者さんの受診抑制が起これないシステムを構築してから考えられるべきものです。残念ながら現在はそうではありません。このままでいくと、将来的には歯科医療難民が増大するかもしれません。この意味で、私たち歯科医師関係者が困ることは、結局、国民の皆様が困ることにつながると思います。

私ども歯科医師は、現状が厳しいと言って仕事を投げ出すわけにはいきません。ですから、お金の面では確かに厳しい時代ですが、そこをなんとか持ちこたえ、誇りを持ってやるべき、価値のある職業であるということを、私ども日歯は歯科医療関係者、さらに国民の皆様にも広く、強く訴えていきます。

これは大きな声で申し上げておかなければなりませんが、過去と比較すれば、歯科サービスは格段の進歩を遂げ、国民の皆様健康づくりに寄与しています。私どもの先輩諸氏の努力が、虫歯や歯周疾患の減少につながっているわけです。これは勝手に減

ったわけではありません。今や多すぎるといわれる
歯科医師が一生懸命努力した成果なのです。

隈部 なるほど。

中尾 8020運動も同様です。この活動は広く国民に
定着して成果も出始めていますから、もうしばらく
するとそれに近い現実になるでしょう。しかし、そ
のときには新たな歯科医療のニーズが生まれてくる
はずです。すなわち、残存歯の多い高齢者への歯科
医療です。おそらく歯科医療の将来・未来には、今
より多面的な、そして高齢者を軸とした大きな展開
が起こってくるはずで。そうすると「歯医者さん
足りないよ」という事態になるかもしれません。もち
ろん、その時には私たち歯科医師自身の資質も問
われるわけですから、私ども歯科医師はそれに対応
しなければならず、そのための準備は今から始めな
ければならないのです。

私たちがやらなければならないことは山ほどある
のです。

編集部 訪問診療の分野もより求められるようにな
るでしょう。熱心に取り組まれる歯科医師も少しづ
つ増えてきているようです。これについても、制度
整備や診療報酬のことをもっと考えていかなければ
ならない問題でしょうね。

特措法26条死守は日歯最大の課題

隈部 今回の総選挙で民主党政権になり措置法の見
直しは狙い通りに上がってきています。特に歯科医の先
生方に関連がある26条については重大な問題で、歯
科医院では多くの方がこの措置法を利用されている
と思います。措置法の存続に関してはどうお考えで
しょう。

中尾 これは当然存続していただかなければなりま
せん。その理由は、歯科医院の経営の安定こそが、
わが国の歯科医療の質にかかわるからです。

そもそも特措法26条は、零細小規模の歯科医療機
関の経営基盤の安定化と地域医療への専念を可能と
する税法です。私どもではそれを受けているところ
が30数%おられます。

医科・歯科の診療報酬格差も問題になっていま
すが、総収入の部分では医科に比べると歯科は零細な
ところが多いのです。まさに特措法の謳っている基
本的な理念に歯科医療が当てはまっている。現在は、

5,000万円までが適用ということになっていますが、
これはなんとか続けていただかないと困ります。

もしこれがなくなると、単純計算でも全体で200
億円の税負担が増加し、現在、5,000万円の医業収入
のところは、さらに850万円の収入を上げなければ
ならない計算になります。私たち歯科医師のエゴで
はなく、この特措法は歯科医療を守るために絶対に
必要な税制です。

隈部 私どもは会計の専門家ですので、損益分岐点
の話をよくするのですが、損益分岐点というのはた
だ単純に赤字か黒字かというラインです。そこには
税金も入っていないし、借入金の返済も入っていな
いし、生活費も入っていない。そこで、それを入れ
たところのキャッシュフロー分岐点が重要になるの
ですが、そこには税金が大きく関与してきます。

中尾 ご指摘のとおりです。したがって、これはぜ
ひ続けてもらわなければならない。

見直しが始まるとも聞いていますが、日歯として
は、これは死守する覚悟で、最大の要望事項にして
います。

隈部 私どもも計算してみましたが、もし5,000万
円以下の医業収入の歯科医院に、通常の税金がかか
ってきたら大変なことになります。先生には、特措
法維持にむけて頑張っていただきたいと思います。

編集部 一時、「医師優遇税制」という表現がなさ
れました。しかしこれは医師への優遇ではないわけ
です。特措法本来の趣旨は今お話にあったようなこ
とであるということは、国民の皆様にもわかっても
らわなければならないかもしれませんね。

中尾 日歯としては、医療の公共性・非営利性に鑑
み、租税特別措置法26条及び社会保険診療報酬に係
る事業税非課税等、現行の医療税制については、是
が非でも存続させなければならないとの強い決意を
もっております。仮に、これらの医療税制が撤廃さ
れれば、歯科医療機関の経営基盤に多大な影響を及
ぼすとともに、結果的に地域医療に混乱をきたすこ
とになりかねません。

チームで展開する歯科医療

隈部 熊本という一地方の話で恐縮ですが、歯科医
師の先生方から歯科衛生士さんの不足がいられます。
都会はまだ恵まれているのかもしれませんが、少し

郊外になりますと、採用の可能性がほとんどないとい
もおっしゃいます。歯科衛生士学校が3年制になっ
たということも影響しているのかと思いますし、職
業に対する魅力が十分理解されていないのかと思
います。この点はいかがでしょう。

中尾 歯科衛生士の養成期間が3年に移行して、4
年生の大学もいくつか出てきています。

私どもとしては、歯科衛生士は歯科医療のチーム
の大きな柱の一つであると認識しています。ですから
3年制への移行は、歯科衛生士が専門職として自
立をして、誇りを持って歯科医療に貢献していただ
くための必然の経緯であろうと考えています。です
から、私どもとしても、これで志望者が減っていく
ことがないよう、できる限りのこと、たとえば、高
校生に対しての啓発活動などを行っていきたくと考
えています。

隈部 歯科技工士についてはいかがでしょう。

中尾 歯科技工士の環境も大変厳しい状況が続いて
います。これは実に悩み深い問題で、このままでは
近い将来、歯科技工士数が不足することが見込まれ
ます。歯科衛生士同様、専門職として私たちと手
をつないでいく同胞として、歯科技工士学校の経営
の問題をも含めた対応が喫緊の課題だと認識してい
ます。

私ども歯科医師の経営の問題は、実はこのような
コ・デンタルスタッフの問題にもつながっていくの
です。私どもが努力することはいうまでもありません
が、国にはある程度の経営環境の保全をぜひ願
いしたい。歯科医院の経営が安定すれば、コ・デン
タルの方々も安心して専門職としての手腕を発揮
できるわけです。それは結果として国民の皆様のため
になるのです。現在はどうもその辺が悪い循環にな
っている。ここが問題なのです。

隈部 そうですね。私どもの歯科医院のお客さん
にも、歯科技工士さんがいらっしゃるところがたくさん
あります。歯科医師の先生方からすると、年々、
給料を上げていきたいが経営状況は厳しい。それで
給料が上がる恐怖みたいなものがあるのです。

そこに何とか私どももお手伝いできないかと考え、
たとえば、ご本人の気持ちを確認した上で、歯科技
工士さんに自立いただいて歯科技工士法人を作るこ
とをお奨めしたケースもあるのです。

中尾 それは一つの考え方ですね。そういうアイデ

ィアを隈部さんのような立場の方に出していただく
ことは、私どもも歓迎するところです。

隈部 私がMMPGとしてのテーマの一つに掲げて
いることの一つですが、歯科大学卒業後は、ほとん
どの先生が独立開業され、その際には経営に関する
知識が重要になります。そこで、大学においてコミ
ュニケーション力養成講座や開業講座などがあれば、
よりよい開業やその後の経営ができると思います
が、いかがでしょう。

中尾 そうかもしれませんね。患者さんに満足いた
だける歯科医療の提供は、経営の安定をベースに、
専門職としての確かな技術が必要であることはいう
までもありません。しかしそれだけでなく、歯科医
療はまさにチームで展開することが欠かせませんか
ら、院内の歯科医師とコ・デンタルはもとより、
場合によっては外部の医科・歯科医療関係者との連
携が必要です。もちろん、患者さんとのコミュニケ
ーションも重要になります。そのためには指摘され
たようなコミュニケーションを行う力を持つことは
必要でしょう。

隈部 私が歯科医院の現場に行き思うのが、院内
のコミュニケーション力が経営に与える影響が非
常に大きいということです。私は、歯科医師の先生
方が、そのコミュニケーション力を発揮して私ども
税理士を上手に活用していただいて、一体としての
パワーをもっと出せればと考えています。

私どもはいつも歯科医師の先生方に変にお世話に
なっているわけですから、なんとかして、この厳し
い時代に会計事務所として力になりたいという思い
があります。今後ともよろしくお祈りします。今日
はどうもありがとうございました。

PROFILE



隈部 幸一

MMPG常務理事、MMPG歯科経営
研究会会長。1972年、立命館大学
経営学部卒業。83年、隈部会計事務所
開業。2008年、税理士法人 絆を設
立し代表社員就任となり現在に至る。
熊本市中央倫理法人会副会長、熊
本北ロータリークラブ理事。モットーは、
熱意・行動・感謝。